

高橋 修 | K邸

シンプル、でもどこかに和を感じる
住まいをキーワードに、(…)
ライフスタイルや要望、
周辺環境を読み取って
ご提案したいと考えています。



久間 常生 |

木の香る中庭の家
「住まいのプロ」として
デザインだけでなく、(…)
皆様の熱い想いに
少しでもお応えしたい
と思います。



本多 図夢 | 「思い出」の家

お客様の夢やイメージを形にするのが
私の仕事と考えています。(…)
デザインは社会や時代との
つながりも重要です。
環境や景色に優しい、
質の高い建築を目指しています。

関口 治 | みなみ野の家

建築は土地に根ざすものなので
その設計はすべてが
特殊解でなくてはならない。



南條 洋雄 | FJ邸

今、リフォームの時代でもある。(…)
人の家を設計するということは、
人生のお友達に
なることだと思っている。

矢賀部 雅子 |

けやき台の家
光と風と水にこだわって
あくまで自由な発想で
あくまで楽しい空間を
あくまで自然にとけこんで



櫻井 義夫 | NK

材質とヴォリュームが作り出す空
どれほど肌に合
そこに興味を持っていただけ
私たちの共同作
機能すると思



東京の 経験豊富な建築家と つくる家

A House You Build with an Experienced Architect in Tokyo

建築ジャーナル編集部 [編]

連 健夫 | 丸窓の家

住宅づくりの中で、
クライアントが何らかの形で
設計プロセスにかかわることにより、
でき上がった家は愛着のあるもの、
物語性のあるものになります。



富樫 孝幸 | 橙の家

「流行に左右されない家」
「使いやすくフレキシブルな
空間や間取り」
「環境に配慮した住まい」
「資産として価値のある家」
そんな家を一緒につくりませんか。



1 Residence
現在や将来の要求を汲むだけではなく、
文化的嗜好や憧れについても理解し、
建主の個性を建築表現として
創出することを心がけています。



渡辺 純 | HIROO FLAT

でき上がった住まいは、
クライアントとともに育ちつつ、
しだいに実り豊かになっていくものであり、
未来の“こと”を起こそうと
するものであってほしい。

堀内恒夫 |
都市型三家族団欒の家

「正しい問いを設定しているか」ということです。
このことを中軸にして、設計の始めから、
引渡しまで、継続して徹底して
考え抜くことが
大切だと思います。



中村雅子 | 船の家

建物自身の声に耳を澄ませ、
五感を使い、
人を感動させる建築を
めざしたいと思っています。



奥津孝二

「さをり織り」サロンの家

一番大事にしているのは、
建て主が思いつかない
家のテーマとなるコンセプトを
提案すること。



入之内 瑛 |
WATA伊豆の家

私たちのめざす家づくりは、(…)
手仕事を大切に作る仲間との
協働作業による建築。
「楽居アートな住まい」づくりです。



大津和文

伊豆高原の山荘
私たちのつくるものは居心地が良く、
リラックスできる
「ふだん着」の住宅・建築です。



近藤弘文 |
西落合の家

どんな家にも家族の物語があり、
それを大事にして計画し、(…)
ご家族が気持ちよく住まうことが
大切だと思います。



あります。
肩性を携えた
したいと

山中文彦

新・あぜくらの家調布
木の家が家族にとって
居心地の良い、暮らしやすい、

一が
明確にすること。

さ

ご家族が気持ちよく住まうことが
大切だと思います。



あります。
肩性を携えた
したいと

新・あぜくらの家調布
木の家が家族にとって
居心地の良い、暮らしやすい、



case

35

本体施工費.....3,400万円
家族構成.....夫婦+子供2人
場所.....東京都杉並区

船の家

「コストを抑えて
「長寿命な」RC外断熱を
「気持ち良く」つくる

善福寺川緑地沿いの
恵まれた環境を生かす

この建物は私の自宅兼事務所です。双方の要求としては「コストを抑えて長寿命なRC外断熱を気持ち良くつくる」こと。敷地は、北に善福寺川緑地があり豊かな緑と涼しい川が流れ、最寄駅からも至近距離にある都市部の環境です。風致条例が定められており塀でなく生垣を推奨し、外壁の後退距離の規定があります。その条件と三方角地の恵まれた環境を生かすべく建物周囲をバルコニーで囲むことを考えました。

海原をゆく船をイメージした
環境共生住宅

船の甲板を思わせる4方向のバルコニーの先端には可動の格子戸が設けられており、使い勝手に応じて建築の外観は様々な表情に変化します。

2階のわずか7帖のリビングは吹抜を通じてすべてのルームと縦横に連続しており、その中心には暖炉を据え、煙突が船のマストの表情を見せています。

南側コートの奥行は3m。L型の開口部が全面開放されて外部とつながり、格子戸を任意に動かすことで落ち着いたランチやディナーの場に。時には人目を避けた洗濯物干し場にも。プライバシーの制御が可能です。1周50mのドリブルコース(バルコニー)は子どもたちが駆け回り、犬も自ら散歩に出歩く。大きな窓やトップライトからの光が白い壁を引き立て明るさが室内に溢れる。それゆえ都市部とは思えないほど開放的な住まいになりました。さらに自邸ゆえ環境共生住宅のモデルとなり得る多くの試みも盛り込んでいます。

LDK見下ろしとバルコニー先端の可動格子戸

建築家からのメッセージ



中村雅子 ナカムラ マサコ

●タジェール代表

1960年 東京都生まれ。
「Casappo & Associates」「Plastic Studio & Associates」などのインテリアデザイン事務所に勤務後、29歳で独立。その後3年間バルセロナへ移住しヨーロッパの建築を巡礼。海外歴訪は30国近い。06年住居兼事務所を自ら設計し独自の環境共生手法を確立。意匠・構造・設備・インテリアを融合した建築をテーマにデザイン活動を行っている。

家をつくりたい方へのメッセージ

家づくりは家族がどのように暮らしていくかを考えることだと思います。それぞれの夢を形にしていく作業です。気持ちの良い家と一緒に考えましょう。

家づくりを検討されている方は私の自邸「船の家」をご案内いたしますので、直接ご連絡ください。

建築に対する考え方

建築を志し修行期間後、自身の事務所で設計に専念してから25年を経ようとしています。その間、多くの良き建て主・施工関係者・設計協力者に恵まれました。建築はそれらの協力者なしに一人では演じられません。建築もまた、一個人や一企業だけのものではなく、社会のもの、風景・都市の街並みの一部です。決して、独りよがりではいけない。建物自身の声に耳を澄ませ、五感を使い、人を感動させる建築をめざしたいと思っています。

南外観



浴室と浴室コート



黒漆喰の和室

その他の設計作品



■Y-House and Studio

(撮影:Nacása & Partners)



■三世帯住居



■Weekend House

設計データ

- ▶敷地面積…120.68m²(36.50坪)
- ▶延床面積…118.34m²(35.79坪)
- 1階/46.22m²(13.97坪) 2階/50.93m²(15.41坪)
- 3階/21.19m²(6.41坪)
- ▶竣工年…2006年
- ▶用途地域…第一種低層住居専用地域
- ▶建ぺい率…50%
- ▶容積率…100%
- ▶構造…RC壁式構造
- ▶設計・監理…株式会社 タジェール
- 〒168-0061 東京都杉並区大宮2-13-10
- TEL:03-5305-2773 FAX:03-5305-2774
- URL: <http://homepage3.nifty.com/taller/>
- E-mail: taller@ci.mbn.or.jp
- ▶構造設計…株式会社 山田構造設計事務所



玄関ホール

